



C O N T E N T S

- 2007年災害救急医療
シミュレーションを終えて 2
- 新潟県中越沖地震への
医療支援活動から 3
- ねっとわーく
椎名レディースクリニック 4
後藤医院 5
- 泌尿器科からのおしらせ 4~5
- 家庭でできる
リハビリテーション 6
運動をすると息切れが改善する
- 検査の窓 7
腫瘍マーカーについて
- 話題の広場 7
地域医療の危機を乗り越える
癒しの風を送っていただきました
沖縄エイサー舞踏団 上演
- ご案内 8
入院される方へ
- 職場紹介 8
救急病棟
- 新任医師の紹介 8

飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康と快適な生活を支える病院を目指します

飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに信頼される医療を行ないます
- 2 私たちは、高度で良質、安全な医療を提供します
- 3 私たちは、中核病院として、地域の医療機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意・熱意・創意をもって患者さんに接します

地震総合防災訓練

放射線部



放射線班

神経内科

整形外科



軽症患者

外科



トリアージ

地震により人工呼吸器が外れた患者の対応訓練



3東病棟

災害救急医療シミュレーションを終えて

九月二日の日曜日に一六八人の職員の参加を得て、災害救急医療シミュレーションが行なわれました。

今年は、地震でエレベーターが使用不可能、断水のため手術などの高度医療もできないという設定で訓練を行ないました。これは地震の被災地の病院として、最もありそうな状況です。国の防災計画では、傷病者を迅速に被災地外に搬送し治療することが原則とされています。この意味から、今回は「赤」にトリアージされた傷病者に優先順位をつけて、実際にヘリは飛ばしませんでしたがヘリコプター搬送訓練を行ないました。今回は長野県の「ドクターヘリ」を要請する想定としました。実際の大規

模災害では必ずしも「ドクターヘリ」が来るとは限らず、各地の「防災ヘリ」や「自衛隊ヘリ」が利用されると考えられます。このときヘリ要請は病院単独では行なえず、飯田市の災害本部との密な連絡が必要と思われま。これらのことについては、今後検討が必要であると感じました。

来年もまた訓練が必要です。試行錯誤を繰り返しながら訓練をしておかない限り、万が一の発災時、動けるはずありません。来年は設定やシナリオを事前に知らせない、より実践的な訓練をしたいと考えています。

災害救急医療マニュアル担当 長沼邦明

トリアージ・タグ (裏)

氏名 (Name)	性別 (Sex)	年齢 (Age)
住所 (Address)	電話 (Phone)	
トリアージ実施日時・時刻	トリアージ実施者氏名	
月 日 時 分		
搬送機関名	所在医療機関名	
トリアージ実施場所		
意識	覚醒している	意識不明
呼吸	回/分、呼吸困難、無呼吸	
脈拍	回/分、整、不整、触知せず	
血圧	/ mmHg	
トリアージ区分	0 I II III	

トリアージ・タグ (表)

特記事項 (搬送・治療時に留意すべき事項)

トリアージとは？

集団災害時、症状の重さで患者さんを分類し、治療・搬送の優先順位を決めます。

黒(0)…不処置(死亡)

赤(I)…生命を救うために最優先で処置

黄(II)…生命活動が安定していて、Iの次に治療を行う。

緑(III)…軽症で入院を必要としない。

通常右手首につけます。

搬送される方が多い場合、トリアージタグに直接書き込み、カルテ代わりにする事もあります。



新潟県中越沖地震への医療支援活動から

7月16日に発生した地震で被災され避難所で生活されている方々の医療支援として、長野県からの要請で飯田市立病院でもチームを派遣しました。7月24日、25日、26日の3日間、前半と後半に分けてそれぞれ5人1チームの編成で2チーム計10名が参加しました。

被災地の柏崎市内では、毎日約20の医療チームが約60箇所の避難所を分担するなかで、当院の医療チームはそのうちの3箇所を分担しました。診療は朝から夕方までの巡回診療と、夜間も17時からのミーティングのあと21時まで診療を行ないました。

受診される方は、昼間は避難所で生活しているお年寄りが多く、夜間は避難所に戻ってこられる方々や、避難所に設置された入浴施設に来られた際に希望で受診される方々でした。診察件数は、昼間、夜間それぞれ10数名で、往診も2件ありました。



避難所での体操



診療の様子

避難所で生活されている方々は、一見お元気そうでしたが、「不安や心配を抱えて眠れない」、「血圧が高くなって心配」といった症状をお持ちの方が多くおられました。

今回の支援活動に参加し、ほかの医療チームや避難所で活動している保健師との連携、あるいは情報の共有が重要と感じました。

登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

当院は私の祖父が明治44年に現在地で開設。現在の建物は平成元年に前院長（私の父、剛雄）が新築したものです。

私は昭和52年に東邦大学を卒業し、同第1産婦人科学教室へ入局、名古屋聖霊病院、静岡の藤枝市立病院で研修し、その後東邦大学付属大森病院で研究と臨床に携わりました。臨床では産科班と内視鏡班の両方に属し、不妊治療チームとして体外受精班の立ち上げにも関わりました。研修時代は月20日を超える当直をこなし、助手時代も月の半分は当直でした。平成3年学位記を取得し、同年9月に帰飯しました。平成8年春、父が死去後3代目院長に就任し、現在に

椎名レディースクリニック

（飯田市小伝馬町）

「いいお産」をモットーに

椎名レディースクリニック 院長 椎名 一雄

至っております。

現在当院の1日外来患者数は約80人、年間380件強の分娩を扱い、不妊症患者を月100人程診ています。体外受精は年間30件程度ですが、開設以来の妊娠率（対症例）は50%を維持しております。私の目標は不妊治療から分娩までを継続して診てあげることです。今は、1日1件の「いいお産」をモットーに頑張っています。今年から若い助産師が加わり、助産師3人体制となって、少しスタッフに余裕ができたことを嬉しく思っています。

平成3年から年6回の産婦人科医学会勉強会が現在まで16年間続いています。このおかげで、当地域の

産婦人科医療機関の連携は良好に保たれていると感じております。ただ、この数年の分娩取り扱い施設の急な減少で、市立病院には多大な負担をお掛けしています。当院は市立病院の前線基地として、私の体力が続く限り頑張っていきたいと思っております。



椎名先生（前列中央）とスタッフの皆様

所在地	〒395-0013 飯田市小伝馬町1-52 ☎0265-22-0304
診療科目	産婦人科
診療時間	8:30~12:00、15:00~17:00 （月・金曜日は19:00まで）
往診	無
休診	水・土曜日午後、日曜日・祝日
駐車場	有



泌尿器科からの おしらせ

最新の尿路結石
破碎装置が
入りました

飯田市立病院では腎結石・尿管結石の治療に最新鋭の体外衝撃波結石破碎装置が導入され九月より稼働しています。

尿路結石とは

腎臓や尿管・膀胱などに見える結石を尿路結石症といいますが、特に尿管結石は七転八倒するくらい激しい痛みを伴います。

尿路結石症の治療

一般的に結石の大きさや結石のできた場所などにより治療方法が異なってきます。腎臓や尿管にできた結石は体外衝撃波結石破碎や内視鏡的結石破碎の対象となり、膀胱にできた結石は内視鏡的結石破碎の対象になります。また、特殊な結石には薬による溶かす方法を用いることがあります。



後藤 医 院

(高森町上市田)

内視鏡検査で早期発見を

後藤医院 院長 後藤 暁



平成14年1月に父から後藤医院を引き継ぎ、それまで同様、地域の皆様の家庭医として日々の診療を行っています。

現在、月に40～50人の患者さんを往診しています。ほとんどがご高齢で寝たきり状態の方です。飯田市立病院在宅介護支援センターと連携し、中心静脈栄養や在宅酸素療法を行うことにより、ご家族に見守られながらご自宅で最期を迎えた末期癌の方もいらっしゃいます。これからも患者さんやそのご家族が安心して在宅療養ができるよう、できるだけのお手伝いをしていきたいと考えています。

大学・病院勤務時代には消化器

病（消化器内視鏡）を中心に研修、研究してきました。平成14年10月に診療所を改築してから、現在までの5年間に上部および下部消化管内視鏡検査を約1,200件行いました。44例の癌（食道癌、胃癌、大腸癌）を診断し、その内11例は内視鏡的治療が可能な早期癌でした。飯田市立病院で行われている症例検討会に参加させていただき、内科、外科、病理の先生方と検討のうえ、手術や内視鏡的治療を行っていただきました。食道癌や胃癌、大腸癌は、早期に発見できればより負担の軽い内視鏡による治療で完治することができます。積極的に内視鏡検査を受ける

ようお勧め致します。



後藤先生（前列中央）とスタッフの皆様

所在地 〒399-3104 下伊那郡高森町上市田630番地1

☎0265-35-2205

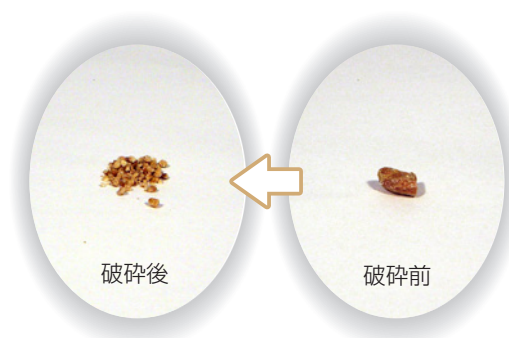
診療科目 内科 小児科 胃腸科

診療時間 8:30～12:00、16:00～18:00

往診 有

休診 木・土曜日午後、日曜日・祝日

駐車場 有



破碎後

破碎前

新しい装置は以前より結石破碎力は強力ですが、治療時の痛みも少なく良い結果が期待できます。



結石破碎機

体外衝撃波結石破碎とは、衝撃波は音波の一種で、体の表面に密着させた装置により結石に焦点を合わせ、衝撃波を数千回当てることにより少しずつ結石を崩す方法です。

運動をすると 息切れが改善する

呼吸不全は「肺・気管支」の病気で、酸素の取り込みの能力が低下します。
呼吸不全の代表的な自覚症状は息苦しさですが、特に慢性呼吸器疾患（肺気腫・慢性気管支炎）の方は徐々に息苦しさが進行することにより

活動性の低下 → **筋力の低下** が起こります。

またじっとしているため **食欲が低下** し **体重減少** と **筋萎縮** が進みます。

この結果手足の筋力だけでなく呼吸することに必要な筋力も弱まり、ますます息切れが強くなって動けなくなるという悪循環を引き起こします。

無理のない運動から始めましょう

重症の方 呼吸法の練習や柔軟体操、日常生活動作を楽に行なうための練習から始めます。

◎呼吸法：腹式呼吸：腹を出したり、引っ込めたりして横隔膜を上下させます。
口すぼめ呼吸：口笛を吹くときのように唇をすぼめ時間をかけてゆっくりと息を吐きます。

◎柔軟体操：胸の動き、呼吸筋の働きの改善 → 息切れの改善

1日1〜3回行ないましょう。
5回ずつ行い、



① 両手を胸に当てて吐く。



② 胸を抑えて、吸いながら首を後ろへ倒す。
吐きながら首をもとに戻す。



③ 息を吸う。



④ 吐きながら体を倒す。

軽症の方 歩行運動、足や腕の筋肉を鍛える運動を中心に始めます。

1日1〜3回行ないましょう。
5回ずつ行い、



① 0.5〜1kgのおもりを持って吐きながら側方へ手を上げ、水平になったら吸いながら下ろす。



② 吐きながら前方へ手を上げ、真直ぐになったところから吸いながら下ろす。



③ 吐きながら膝を伸ばす。
吸いながら足を下ろす。



④ 吐きながら膝を上げる。
吸いながら足を下ろす。

運動を続けることにより効果が持続します。毎日の生活に運動習慣を取り入れることが重要です。
ご家族や、まわりの方の協力を得ながら楽しく続けましょう。

検査の窓

その7

腫瘍マーカーについて

腫瘍マーカーとは各種の「がん」に対する治療効果判定や経過観察、早期発見のために用いられる検査項目です。

各種腫瘍マーカーは高値であっても必ずしも「がん」ではなく、その他の病気でも高値になる場合があります。また、「がん」に罹患していても低値の場合もあります。そのため、内視鏡、放射線、超音波などの検査と併用で「がん」の早期発見や経過観察、再発予知のために使用されます。

腫瘍マーカーは約30項目ありますが、当院の検査科では右の7項目を検査しています。

項目	対象疾患
CEA	多くの悪性腫瘍（大腸癌・乳癌・前立腺癌・膵臓癌・卵巣癌等）の補助的診断、治療効果判定に使用
CA19-9	膵臓癌・大腸癌・胃癌・肝癌の経過観察に有用
PSA	前立腺癌の補助的診断、経過観察用
※ AFP	原発性肝細胞癌・非セミノーマ精巣癌の治療効果判定
※ SCC	子宮頸部、肺、頭頸部、食道等の扁平上皮癌の補助的診断と経過観察に有用
※ CA15-3	乳癌の再発予知、治療効果判定に使用
※ CA125	卵巣癌の補助的診断、経過観察に有用

※9月から当院で検査ができるようになったもの

話題の たばこ

癒しの風を送っていただきました 7/17(火)

フルート・篠笛・木の葉の笛などでソロ演奏やアンサンブル演奏を県内外で行ない、また、飯田市内でフルート教室を主催されている森田和美さん（フルート）と14歳からギター、ピアノを独学で始められソロ活動のほか、多くのミュージシャンとの共演をされている大槻和彦さん（ピアノ）によるフルートとピアノデュオが開催されました。コンサートに参加された患者さんは心地よい癒しの時間を過ごしました。



メインテーマ

7/7日(土)

「地域医療の危機を乗り越える」



第64回長野県農村医学会総会（学会長：千賀脩飯田市立病院院長）が飯田文化会館で開催されました。診療報酬

のマイナス改定や、医師をはじめ医療スタッフ不足に直面する地域医療の現場にスポットを当て「医療スタッフの確保と育成」のテーマでシンポジウムの開催、佐久総合病院松島松翠名誉院長による「若月俊一と農村医学」をテーマとした、特別講演が行なわれました。今回は、4会場に渡って93題もの一般演題発表があり、臨床医学だけでなく看護・介護や検診、栄養といったさまざまな分野の発表と質疑応答が盛んに繰り広げられました。



松島松翠先生

沖縄エイサー舞踏団 上演 8/24(金)

当院の患者さんと那覇市の子供たちの交流がきっかけとなって沖縄県那覇市首里鼓団(小中学生中心のエイサー舞踏団)の上演が行なわれました。当日は、市内の学校・福祉施設などへの訪問後の来院にもかかわらず、元気一杯にエイサー太鼓の演舞を披露してくれました。



※エイサーは、沖縄で盆踊りの時期に踊られる伝統的な芸能です。



ご案内

入院される方へ

入院の際に「入院誓約書」のご提出をお願いしていますが、記入にあたりいくつかご留意いただきたい点があります。「住所」「本籍」「勤務先名」「電話番号」などの項目は漏れなくご記入をお願いします。「連帯保証人」は同居家族以外の方のお名前をご記入ください。

なお、患者と身元引受人と連帯保証人の印はそれぞれのもので押印してください。

入院誓約書の記入が終了しましたら、一階の総合案内窓口にご提出してください。

このほかに、入院の手続きに関するご質問などがありましたら、当院の医事課入院係へお問い合わせください。



● 職場紹介 ● その16

【救急病棟】

平成18年10月1日、救命救急センターの開設に伴い、救急病棟が新設され運用を開始しました。ベッド数は8床です。2床は個室、3人部屋の男性室と女性室があります。

市立病院に救急搬送された患者さんは、「救命救急センター」で主に初期診断、治療を行ないます。救急車のみならず、ヘリコプターで搬送される患者さんの数も年々増加しています。患者さんには検査室、CT室、レントゲン室などで早期診断に必要な検査を受けていただき、その

結果により入院が決定されます。

集中治療室での治療が必要と判断された方は集中治療室への入院となり、状態がいつ急変するかわからない患者さんは救急病棟への入院となります。救急病棟は外科、整形外科、脳神経外科、循環器内科、呼吸器内科、一般内科など多くの科の患者さんが対象となっています。緊急手術を必要とする患者さんや重篤な肝不全、腎不全、糖尿病などの代謝性障害、交通事故、転落などによる外傷患者さんの看護において、常に緊張状態が持

続している病棟です。救急の入院患者さんやご家族の不安を受けとめ常に「笑顔」と「優しいことば掛け」をモットーに看護を実践しています。抜群のチームワーク、フットワークで安全な療養環境の提供を心がけています。



あ と が き

今年は七月から台風の猛威により、日本各地で多くの被害をうけました。毎年九月には防災訓練が全国的に実施されています。

市内においても同月二日(日曜日)に防災訓練が行われ、あわせて当院でも大規模災害を想定した災害救急医療シミュレーション訓練を実施し多くの職員が参加しました。災害拠点病院として備えを万全にしていることはもちろんです。日頃から職員一人ひとりが災害を想定し、有事の際には素早い行動がとれるように常に心がけていきたいと思えます。

【編集委員 佐々木雅子】

新任医師の紹介

平成19年7月2日～9月30日



麻酔科
岩澤 健
(いwasawa けん)
平成5年卒業
平成19年8月1日着任
前勤務病院
信州大学医学部付属病院